

大凧 便り 第188号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界凧博物館東近江大凧会館 令和4年1月20日発行
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号
TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860
IP: 050-5801-1140
開館時間: 9時~17時 休館日: 水曜日、第4火曜日、祝日の翌日
平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

祝新成人 20 畳敷大凧「個々に幸あれ」飛揚



祝成人！東近江大凧揚げ記念イベント

新春凧揚げ大会 ~ご参加ありがとうございました~



年末年始は大雪に見舞われ、コロナもまだまだ落ち着かず、何だか波乱の幕開けとなった2022年。成人式の天気も心配されましたが、当日は気持ち良いほどに晴れ、一安心といったところでしたね。

1月9日(日)、聖徳中学校グラウンドにて新春凧揚げ大会・成人の大凧揚げが行われました。新春凧揚げ大会は午前から行われ、大凧会館で作った凧や市販の凧など様々な凧を持ってたくさんの方が参加してくれました。会場では先着で無料の凧作りができるコーナーやお子さんを対象としたサイコロを振って出た目の数のみかんがプレゼントされるコーナーなどがあり、それぞれに親子で楽しんでおられました。当日は少し風が弱く、凧を揚げるにはあまりいいコンディションとは言えませんが、そんなことはお構いなく元気いっぱいの子もたちは凧の糸を持ってグラウンドを走り回っていましたよ。

午後からは、成人式の式典を終えた新成人の皆さんが、20畳の大凧揚げのために集まってくれました。真新しいスーツ姿の男性や、華やかな振り袖姿の女性たちが大凧の前に立ち微笑む姿はとても頼もしく感じました。成人式実行委員長の手によって大凧揚げの安全祈願の御神酒が綱にかけられ、いよいよ飛揚の準備に入ります。引き綱を持つ成人の方たちの顔には少し緊張感が……。そして約30人の新成人たちが、大凧保存会会長の太鼓の合図に合わせ一斉に走りだします。弱風ながらも大凧は50m上空まで舞い上がり、「おおー！」という歓声の後、見物していた人たちからはあたたかい拍手が起っていました。

今年の20畳敷大凧の判じもんは、寅年にちなんで上部に虎を2頭描き、下部に「幸」の文字が描かれ、「個々(虎虎)に幸あれ」と読ませます。この判じもんのように、二十歳を迎えられた皆さんそれぞれが幸せになってほしいと思います。



準備中



飛揚祈願 竜頭に御神酒をかけます。



大空高く飛揚しました。(個々に幸あれ)



凧作り会場



親子で凧揚げを楽しむ。

大凧会館ブログ <https://oodakomuseum.shiga-saku.net/c59624.html>

飛揚動画 <https://youtu.be/p8P4qM90GXQ>

二虎の張り子絵付け教室二



まだ雪が残っている1月10日(月・祝)午前10時からと午後1時半から福島県三春地方の郷土玩具である張り子の「虎の絵付け教室」を開催しました。黄色に塗られた「虎の張り子」に赤、青、黒、金の色を塗っていきます。見本と同じように塗ったり、自由な発想で楽しく色を塗って虎の張り子が完成しました。伝統工芸を体験できる良い機会を、皆さんは色付けに悩みながらも楽しおられました。本当に皆さんそれぞれ素敵な作品ばかりでした。



コロナの時期でなければ参加した人の作品を見合ったりするなど交流ができたのかな・・・というお客様からの感想がありました。

最近、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が増えたとニュース報道がありますが、来年は皆さんが交流できるようになってほしいものです。

二近江だるま絵付け教室二



1月16日(日)午前10時から、近江だるま保存会の皆さんに指導していただき、「近江だるま絵付け教室」を開催しました。



白いだるまに顔の下絵を仕上げから色を塗っていきます。一色塗るごとにドライヤーで乾かしてから色を塗る細やか作業です。全体色付けされると可愛らしいだるまが完成しました。ドライヤーの熱から手を守ったり、色塗りの際に汚れないようにするため、だるまに割り箸をさされていたのですが、りんご飴みたいで美味しそうでした・・・。皆さんだるまの顔を書くのが難しそうでしたが、最後に朱色を全体に塗られるとだるまらしくなり、出来栄えに満足していただけたように感じられました。滋賀県に住んでいたが「近江だるま」の歴史など知らなかったので、知れて良かったなど感想いただきました。



滋賀県初登場 笑顔と福を呼ぶ 二「福よせ雛(ひな)」二



東近江大凧会館では、今年で第12回目を迎える福よせ雛プロジェクトに初参加をします。

福よせ雛とは、様々な事情によりご家庭で飾ることができなくなり、手放さなければならなかったお雛さまをもう一度何かの役に立て、第二の人生を有効に活用させようと「福よせ雛(日常生活をするおひな様)」の展示を名古屋市近郊の主婦9名が発案されました。名古屋を中心に、愛知県・岐阜県・鳥取県・広島県・北海道・岩手県・兵庫県など各地の参加団体同士が協力しながら全国的な盛り上がりとなっています。



東近江大凧会館では、例年展示しているひな人形の凧と福よせ雛を下記の期間展示を行います。

開催期間 令和4年2月10日(木)から3月21日(月)まで
期間中の休館日 水曜日、2/22、2/24



親子凧作り教室

二～空を飛ぶサントクロースの凧を作ろう～二



東近江大凧会館では、12月19日(日)に毎年恒例行事となっている『親子凧作り教室～空を飛ぶサントクロースの凧を作ろう』を開催しました。雪が降り足元が悪い中、6家族16名の方に参加いただき、8枚のサントクロースの凧が完成しました。



凧の製作はまず、縦約90センチ、横約60センチあるサントクロースの形の和紙に、思い思いの好きな色を塗ります。塗り終わったら絵の具を乾かし、木工用ボンドで和紙に竹を貼っていきます。少し難しい作業が続くので、親子で協力しながら作業を進めていきます。竹が貼れたら、竹同士が重なった部分を糸でくくっていきます。そして、凧を反らす糸と揚げ糸を取り付ければ完成です！今年も色とりどりの可愛らしいサントクロースの凧ができました。「色塗りが楽しかった。」や「自分がのれるような、世界一大きい凧を作りたい。」などの感想をいただき、楽しそうに凧作りができて良かったです。



ちいさなたびいち2021 ～揚げてよし 飾ってよし～ 二来年の干支「寅」の親子凧作り教室二



10月31日(日)から12月25日(土)まで、『ちいさなたびいち2021』が開催されました。ちいさなたびいちとは、東近江市の暮らしに息づく小さな「幸せ」を集めた66の体験プログラムに参加できる「旅の市場」です。



東近江大凧会館は、『～揚げてよし 飾ってよし～ 来年の干支「寅」の親子凧作り教室』を、12月25日(土)に開催しました。午前の部、午後の部を合わせて、14家族36名に参加いただき、18枚の干支凧が完成しました。

凧の製作はまず、3種類の絵柄の中から好きな虎の絵柄を選び、六角凧に凧絵を写し、好きな色で塗っていきます。塗り終わったら絵の具を乾かし、木工用ボンドで和紙に竹を貼っていきます。竹が貼れたら、竹同士が重なった部分を糸でくくります。そして、凧を反らす糸と揚げ糸を取り付ければ完成です！黄色い虎だけでなく、青色の虎など個性的な色あいの凧もあり、とてもカラフルで可愛い凧になりました。お正月に凧揚げを楽しんでいただけたらいいと思います。

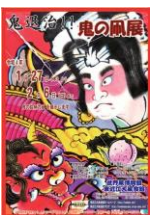


迫り満点！鬼が描かれた凧を展示

二鬼退治！！「鬼の凧展」二



鬼はそと～♪福はうち～♪。2月3日は「節分」です。東近江大凧会館では、2月3日の節分にちなみ、武将が鬼退治をする絵柄の凧や涙を流すのを表す紅白の房を鬼の目に取り付け、「優しい心も持って鬼のように強く育てほしい」という子どもの成長を願った「見島鬼ようず」(山口県)などを展示します。(ようずとは凧のこと)



開催期間 令和4年1月27日(木)から2月6日(日)まで
期間中の休館日 水曜日

二2022年2月の予定二

6日(日)まで 「鬼退治！！鬼の凧展」
10日(木)～3月21日(月) 「福よせ雛」
20日(日) 家族ふれあいサンデー